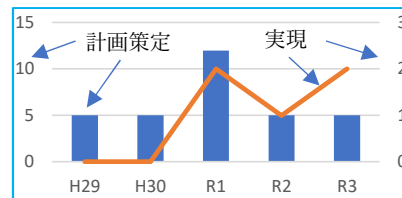


商工会創生プラン（平成29年度～令和3年度） 潟上市商工会アクションプログラム成果報告書

戦略1 育て・挑戦を支える商工会

総合評価	H29	H30	R1	R2	R3
		◎	◎	◎	◎

販路開拓やICT導入などの課題を解決するために、経営計画策定による補助金支援を強化した。事業承継については、5年間で32件の承継計画を策定し、うち5件の承継が実現した。支援に当たっては、個の力ではなくチーム（組織）力に対応するために担当エリアを撤廃し、案件を集約及び共有した。



事業承継に係る計画策定及び実現数(件)

戦略2 プロ集団の商工会

総合評価	H29	H30	R1	R2	R3
		◎	◎	◎	◎

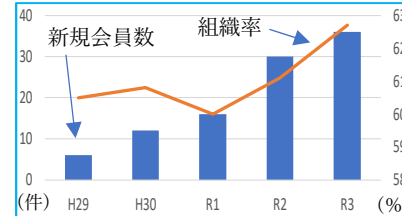
高度な経営課題に対応するために、中小企業大学校や民間主催の研修を積極的に受講し、職員の支援レベルの向上を図った。また、習得した知識や支援の事例・手法は、OJTを兼ねた内部研修などにより共有する仕組みを構築できたことで実践に活かされている。

- <職員内部研修（会議）例>
- ▽第一部：業務の近況報告
業務改善等の協議
 - ▽第二部：担当制による自主研修
 - ▽第三部：OJT内部研修
- ※職種別に自主的に運営

戦略3 事業者が主役の商工会

総合評価	H29	H30	R1	R2	R3
		◎	◎	◎	◎

商工会の新規会員数は平成29年度に6件だったものの、毎年増加を続け、特にコロナ禍である令和2～3年度では、66件と大幅増加となった。併せて、組織率も5年間で2.2pt増の62.7%まで増加した。情報発信や創業支援の強化、給付金等の申請支援など、商工会の存在意義を大きくアピールした結果、組織基盤強化へとつながった。



新規会員数(件)及び組織率(%)

戦略4 機動的・効率的な商工会

総合評価	H29	H30	R1	R2	R3
		◎	◎	◎	◎

Web会議導入により、本支所間での移動時間の削減や受託業務の見直し及び集約化等により、商工会業務全体のスリム化を図った。また、オンラインセミナーを取り入れたことで、利便性が向上し参加者の拡大につながるなど、効率的かつ効果的な商工会活動を展開した。

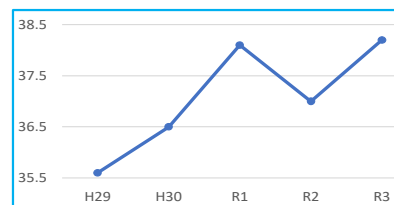


好評のオンラインセミナー

戦略5 環境変化に強い商工会

総合評価	H29	H30	R1	R2	R3
		◎	◎	◎	◎

新規会員の増加及び脱退会員の減少によって、自己財源比率は平成29年度に35.6%だったが、令和3年度では2.6pt増の38.2%となった。また、10年間の財政シミュレーションを基に財政面での課題を抽出し、今後取るべき解決策が明確となったことから、更なる財政基盤強化を目指す。



自己財源比率(%)